上所校区コミュニティ協議会組織図

会長　真島　義郎

監事（監査）
茅原　芳男
山崎伊佐雄

総務部（事務局）
副会長・総務部長
・幹事長（淺野　昌禧）
総務副部長
・会計幹事（高島　清）

（担当業務）
運営全般（淺野　昌禧）
スポーツ振興（真島　義郎）
広報誌委員長（相川　良平）
広報委員（淺野　昌禧）
（高島　清）
（渡邉　春雄）

副会長
上所校区社会福祉協議会会長
渡邉　春雄

第一ブロック　幹事（細川　聖）
第二ブロック　幹事（渡邉　春雄）
第三ブロック　幹事（水野　進）
第四ブロック　幹事（小泉　完）

教育・スポーツ部会

部会長	細川　聖
部会員	真島　義郎
〃	青木　春夫
〃	桑原　行正
〃	金巻　豊治
〃	茅原　芳男
〃	大塚　敏子

環境・まちづくり部会

部会長	渡邉　春雄
部会員	相川　良平
〃	宗村多四郎
〃	山崎伊佐雄
〃	渡辺　豊
〃	高島　清
〃	山際　孝宏

安心・安全部会

部会長	水野　進
部会員	松鷹　裕明
〃	山田　四郎
〃	加藤　尚志
〃	斎藤　啓
〃	淺野　昌禧
〃	佐藤　一

福祉・保健部会

部会長	水野　紀一
部会員	斎藤　孝栄
〃	佐藤　哀也
〃	上塚　正行
〃	久保田昭正
〃	小泉　完
〃	中原　恵美

編集後記

　上所校区コミュニティ協議会が、会長、幹事長、各部会長、部会員の献身的な気持ちで一生懸命活動している様子が広報紙面上で伝わったことと思います。
　ところで今年は新潟地震から50年の節目の年です。この体験を子供たちに語り継いで行かなければなりません。語り継ぐこと自体が将来の減災に少しでも役立つものと願っています。

広報委員長　相川　良平

発行者　真島　義郎
編集長　相川　良平
編集委員　淺野　昌禧・高島　清・渡邉　春雄

かみところ

第16号

1964年（昭和39年）６月16日午後１時２分、新潟地震発生。
（昭和大橋落下の模様）

新年度のあいさつ

上所校区コミュニティ協議会
会長　真島　義郎

　平成26年度が始まり、今年度も宜しくお願い申し上げます。最近特に感じていることを申し上げます。
　認知症で徘徊していた男性が列車にはねられ亡くなった事故で、ＪＲ東海が振り替え輸送費などの損害賠償を遺族に求めていた訴訟の控訴審判決が名古屋高裁で出された。高裁は同居していた妻の監督責任を認め、約360万円の支払いを命じた。地裁判決では、妻と長男に約720万円の支払いを命じた。遠方で暮らす長男への請求は棄却されたが、妻の責任が再び問われたことで介護を担う家族や事業者は不安を募らせている。
　ＮＨＫの調査によると、認知症やその疑いがあり、徘徊などで行方不明になって警察に届けられた人が一昨年一年間に全国で一万人近くに上った。
　以前、認知症のため身元がわからないまま大阪市内の介護施設で暮らす男性が、兵庫県内の74歳の男性と判明し、２年ぶりに家族と再会したという報道があった。明るい話題だが、なぜ２年もわからなかったのかという課題が浮き彫りになった。また、最近のニュースでは、認知症のため身元が分からず、群馬県内の施設で暮らしていた女性が７年ぶりに夫と再会し、東京の67歳の女性と確認されたと報じられた。
　認知症の行方不明者の情報を共有するシステムの改善や関係機関の連携、地域住民と民生・児童委員協議会と協力して隣近所の連携を密にし、認知症の行方不明者を出さない体制整備など早急に対策を講じなければと思います。

新任ごあいさつ

鳥屋野地区公民館
館長　吉　田　明　美

皆様、はじめまして。４月に館長として参りました。鳥屋野公民館は４館めになりますが、この地区は初めての場所なので、今は地域を知るために散策するのが楽しみの一つになっています。

公民館は、地域の皆様にとって最も身近な存在と思っています。地域の皆様と一緒に汗を流し、学び、喜びを分かち合う職場でいたい、そんな思いで毎日頑張っています。

公民館では毎日大勢の人達がわいわい集い学んでいます。いつも違う自分になりたいと思ったら、ふらっと公民館に立ち寄ってみませんか？（休む場所は各階にございます。）お隣の人達のお話に耳を傾けたり、学んでいる人達の様子を見たり、ふっと興味を持つ何かにめぐり逢えたら、公民館事務室にお声がけください。明るい職員が皆様をお迎えいたします。

新任ごあいさつ

新潟市中央区役所南出張所
副所長　高　橋　　裕

４月より、南出張所に着任し、上所校区コミュニティ協議会をはじめ、鳥屋野・山潟地区の各校区コミュニティ協議会、そして地域の皆様と関わらせていただくこととなりました。着任し２月余り、皆様と交流させていただく中で、日々、地域の課題解決のため熱心に取り組んでおられる様子を拝見させていただき、改めて感銘しております。微力ではございますが皆様とご一緒に、地域振興に努めてまいりますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

平成26年度　上所校区コミュニティ協議会　事業計画

総務部

幹事長・総務部長　淺野　昌禧

年	月	日	事業内容	備考
26	4	2	企画会議	
		16	第１回役員会議・新体制など・総会準備	
	5	10	総会	
		21	市助成・補助金に関する申請検討	民生委員合同会議検討
		21	四部会合同研修会議・新自治会長勉強会	
		28	第２回役員会議	広報誌、資料収集
	6	13	上所小職員との意見交流会	
		16	小・中学校一斉防災訓練	新潟地震から50年事業
		18	第３回役員会（拡大）［専門部会事業計画、予算案他］	
		20	民生・児童委員と自治・町内会長の合同研修会	
		30	広報「かみところ」第16号発行	（市の補助金で対応）
	7	24	地域諸団体との合同会議（連携のあり方・地域の課題など）	上ＰＴＡ、ス振、民児協老人ク、保護司会
	8	23	上所小夏祭り	
	9	17	第４回役員会議(拡大)	
	10	5	（レッツ・エコウォークの実施）	地域活動費補助金
			各部会の企画事業	
		19	「防災フェスタ開催」上所小	
	11	11	第５回役員会	
			各部会の企画事業	
27	1	15	広報「かみところ」第17号発行	（市の補助金で対応）
		14	第６回役員会	
	2	12	地域諸団体との合同会議（連携のあり方・地域の課題など）	上ＰＴＡ、ス振、民児協老人ク、保護司会
		25	第７回役員会議（今年度の反省と来年度の準備）	
	3		上所小職員との意見交流会	
		18	第８回役員会（拡大）「専門部会事業・会計報告：監査」	
		20	市助成金、補助金関係実績報告	
		31	会計監査（総務部）	

教育・スポーツ部会

部会長　細川　聖

事業名	実施月日	会場
やってみよう！とび箱・なわとび・ボール投げ	６月29日（日）	上所小学校体育館
みんなでラジオ体操	７月25日（金）	上所小学校グランド
上所夏まつり	８月23日（土）	上所小学校
レッツ・エコウォーク～上所を歩こう～	10月５日（日）	上所小学校グランド　～　やすらぎ堤
マンガ教室	10月	鳥屋野中学校
ファミリースポーツフェスティバル	11月16日（日）	上所小学校体育館
卓球・バトミントン教室	12月７日（日）	上所小学校体育館

「上所夏まつり」は今夏２回目となります。昨年はアイデアを出し合いながらコミ協・ＰＴＡ・スポ振・鳥屋野地区公民館・ふれあいスクールスタッフなどの協働で開催されました。将来とも地域に根ざした一大イベントとなるよう多くの住民の協力と参加をお願いいたします。

上所校区コミュニティ協議会は、上所小学校ＰＴＡ・上所小学校区スポーツ振興会・鳥屋野中学校区青少年育成協議会が主催する左表の事業に協賛します。

環境・まちづくり部会

部会長　渡邊　春雄

我々が担う仕事としては、浅く数が多くて幅広い。この中にも何点か搾り上げて活動と成るわけであるが中々時間が要求され、数年かかるのは余儀ない。旧新潟市中央卸売市場跡地問題に関し３年前に要望書提出し、以後数回に亘り、新潟市地域・魅力創造部政策監との利活用勉強会を設けさせて貰い、幾らかでも初期の問題点を早期に解決へ願って意見交換等行っておりました。尚今後は引き続き内容のランクを変えながら、諸般の状況に応じて、検討を重ねより良い方向性に行きたいと考えております。

尚今年は、校区内全域に災害緊急時の為に、避難所及び海抜等の記した案内版を、目立つ箇所に取り付け作業を計画実施致したく、今後関係機関へ交渉検討に入って行きたいと考えています。

又、鳥屋野潟等についても、一時的な催しものと違って自然を豊かにし、様々なものを保護しながらの工法で長年を要する感じがいたします。いずれにしても新潟市に於いて大切な貯水、排水等色々な面に大きな役割を持つ「潟」であると考えられます。

年	月	日	事業・活動内容	備考
26	5	12	１、旧新潟市中央卸売市場跡地の問題について ・前年度に続き新潟市との勉強会を続ける ２、校区内に避難所、海抜等の案内表示板取付事業 ３、鳥屋野潟に関する ・整備計画事項について ・とやの物語実行委員会 ・とやの潟を育む市民の連絡協議会等に参加	新潟市地域魅力創造部政策監

安心・安全部会

部会長　水野　進

この度、前部会長淺野昌禧氏の後任として引き継ぐ事となりました。

前任者同様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

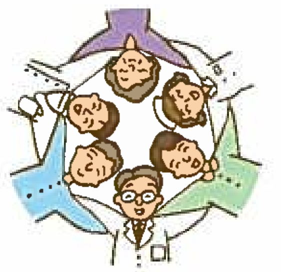
平成26年度の事業計画は、自治・町内会単位での防犯防火パトロール・婦人部会企画の日赤救助訓練（ＡＥＤを使っての救命、救助訓練等）・上所小学校の生徒の皆さんによる防犯マップ作り・東京消防庁本所都民防災教育センターの視察研修による暴風雨等の体験訓練の実施・防災フェスタ開催による新たに企画する起震車の体験訓練など、新企画なども織り交ぜながら、出来るだけ多くの皆様からご参加いただき、これらの機会を通して安心安全の“地域力”を高める原点となるコミュニケーションの輪を広げて行きたく考えております。

何時やってくるかわからない自然災害、近時特に変化が著しい気象現象、少子高齢化が進む中で予想出来ない生活環境を迎える時に、家族、近所の交流の輪を自治・町内会、コミュニティ協議会単位に広げることが安心安全の地域力を高めて行くものと思っております。

是非とも、自治・町内会の行事、コミュニティ協議会の行事にご参加いただき、交流の輪を広げて下さいますようお願いいたします。

福祉・保健部会

部会長　水野　紀一

昨年度のアンケートでは、多くの自治会から高齢化が進む中で「緊急医療情報キット」の配付は継続して取組んで欲しいという意見が寄せられました。今年度は、新潟県共同募金会の公募枠の助成制度「安心・安全なまちづくり支援事業」から助成金の交付を受けることになりました。

配付対象は昨年度と同条件ですが、より多くの方々から積極的に、自治・町内会長や民生児童委員の方に申請をしていただきたいと思います。